

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	建築設計計画評価小委員会		主 査 名：脇坂 圭一 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)		委員長名：清家 剛 主 査 名：小見 康夫
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	現代建築作品を通して有効な設計方法論を求め、建築計画学の新しい枠組みを構築することを目的として、建築計画学から現代建築作品を評価する方法を検討するとともに、建築設計の質的向上に貢献するための成果の発信・還元を継続的に行う。 初年度：具体的な建築作品や建築的動向を対象とした調査・検討から、討議を行い、公開研究会を開催する（年度末）。 2 年度：「建築計画学からの作品評価方法の構築」へ向けたまとめ・発信、作品の調査・検討、活動のまとめ、公開研究会の開催（年度末）。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：脇坂圭一（静岡理科大学） 幹事：古澤大輔（日本大学） 委員：泉幸甫（日本大学）、伊藤暁（東洋大学）、宇野求（東京理科大学）、加茂紀和子（名古屋工業大学）、岸本達也（慶応大学）、金野千恵（京都芸工繊維大学）、佐藤慎也（日本大学）、山道拓人（法政大学）、鈴木雅之（千葉大学）、田所辰之助（日本大学）、西村伸也（新潟大学）、服部岑生（NPO ちば地域再生リサーチ）、広田直行（日本大学）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	討議を目的とした研究会の開催実績はおおむね目標を達成しているが、討議の結果、具体的な建築的動向を示すまでには至らなかった。引き続き検討を行なっていく。
委員会活動の問題点・課題	1. 2022 年 4 月 5 日 (zoom、KW：アーキテクトとアクティビスト、建築に何が可能か、地方におけるファシリテーターとしての建築、「建築なるもの」の設計、など)、2022 年 10 月 4 日 (zoom、KW：建築論から計画論へのフィードバック、共有可能な語彙としての評価軸、建築の価値、マニフェストのあり方、新しい時代の建築観、クライテリアの弾力性、など)における討議を経て、12 月 1 日 (対面+zoom、新委員の山道拓人氏によるミニレクチャーを実施・討議、KW：プロジェクトを巡る設計者と運営の体制、オーナーシップ、コモンスペース、カタチと架構、モノかコトか、建築の道具性、当事者意識、価値基準、など)。年度末にも討議の場を設ける予定である。 2. 前半は zoom による討議とならざるを得なかったが、次年度は実際の建築を訪れる、または対面での設計者との討議による討議、さらには公開研究会の開催をしたい。活動成果の発信を積極的に行う必要がある。